

選挙権年齢の引下げに対応する投票率向上に係る取組

一 福岡市選挙管理委員会における取組

1 明るい選挙出前講義（高校・大学生等対象）

(1) 実施内容

- ア 市及び区選挙管理委員会事務局職員による選挙に関する講義
- イ 「架空の市長選挙」をテーマにした模擬投票の実施（実際に選挙で使用する器材を使用した投票を体験する。学校によっては、投票管理者や開票などの選挙事務も体験する。）

(2) 実施状況

表（次頁）のとおり

2 住民票異動の呼びかけ

(1) 実施内容

進学や就職で引っ越しても住民票を異動せず、現在住んでいる所で投票できないことも若者の投票率が低い一因と考え、引っ越した時の住民票異動を呼びかけるもの。

(2) 実施状況

平成28年1月に大学、専門学校、高校に「呼びかけ」のポスターの掲示を依頼。また、福大正門前で街頭啓発を実施。

3 平成28年7月執行の参議院選挙での取組（予定）

(1) 高校生の選挙事務従事

- ア 高校生に実際の投票所の事務を体験してもらい選挙への意識と関心を高めてもらうもの。
- イ 市立4高校に対して依頼（期日前投票所及び当日投票所で計40人程度の募集を依頼）

(2) 高校生による地下鉄駅構内での啓発放送

- ア 地下鉄駅構内において高校生による選挙啓発アナウンス（録音）を放送し、若者に投票参加を呼びかけるもの。
- イ 市内の3高校に依頼

(3) 大学、専門学校、高校等でのポスター掲示依頼

「18歳選挙権」と「候補者を知るための方法（ホームページ、ポータルマッチ、選挙公報など）の紹介」を内容としたポスターの掲示を依頼。

※ 福岡市選挙管理委員会主催の取組のほか、福岡市において福岡UnitedChildren、高校生未来会議、「高校生のための模擬選挙」高校生実行委員会等の高校生を主体とする団体により、「福岡模擬選挙」や「高校生による各党マニフェスト評価」等が行われている。

表 明るい選挙出前講義実施状況一覧（一 1 (2)関係)

(平成28年5月31日現在)

年度	日程	場所	対象	人数	模擬投票	
平成27年度	1	平成27年7月11日	九州産業大学	1～4年生	111名	○
	2	平成27年9月9, 10日	九州造形短期大学	1・2年生	198名	○
	3	平成27年9月29日	麻生外語観光&製菓専門学校	キャビンアテンダントコース	26名	○
	4	平成27年11月11日	福岡県立城南高校	1年生	30名	○
	5	平成28年2月10日	福岡県立博多青松高校	3年生	約280名	○
	6	平成28年2月15日	福岡県立講倫館高校	教員	約70名	×
	7	平成28年2月17日	福岡市立福翔高校	2年生	約300名	○
	8	平成28年2月19日	博多高校	高校生による模擬投票実行委員	約30名	×
	9	平成28年2月24日	福岡市立特別支援学校博多高等学園	3年生	約30名	○
	10	平成28年2月25日	北海道芸術高校福岡サテライトキャンパス	1, 2年生	約60名	○
	11	平成28年2月26日	純真高校	1～3年生	約700名	○
	12	平成28年3月2日	KTC中央高等学院福岡キャンパス	単位制	約50名	○
	13	平成28年3月9日	福岡県立筑前高校	2年生	約400名	○
	14	平成28年3月29日	南片江公民館	小学生, 中学生	約40名	○
平成28年度	1	平成28年4月13日	福岡県立博多青松高校	1～3年生	約900名	△
	2	平成28年4月26日	福岡県立香住丘高校	3年生	約390名	×
	3	平成28年4月27日	福岡県立玄洋高校	3年生	約300名	○
	4	平成28年4月28日	福岡県立早良高校	3年生	約280名	○
	5	平成28年4月28日	福岡県立城南高校	3年生	約400名	×
	6	平成28年5月7日	九州産業大学	1～4年生	112名	○
	7	平成28年5月12日	福岡市立西陵高校	3年生	約310名	○
	8	平成28年5月13日	福岡県立福岡工業高校	定時制課程	30名	○
	9	平成28年5月19日	福岡県立筑紫丘高校	2・3年生	876名	○
	10	平成28年5月23日	福岡県立柏陵高校	全学年	975名	×

※模擬投票欄は、○：全員実施、△：代表者のみ実施、×：実施せず

二 他都市等における取組（各都市ホームページ，新聞等で確認）

1 選挙パスポート

(1) 実施内容

主に若者の投票率を高める目的で，国政選挙や地方選挙で投票したことをスタンプで記録する選挙パスポートを作成している。平均寿命までの投票回数として100個のスタンプ押印欄を設けている。また，選挙に関する基礎知識等も掲載されている。

成人式で新成人に選挙パスポートを配布しているほか，希望する市民に対しても市役所等での配布を行っている。

(2) 実施都市

- ・岐阜県関市（平成25年1月～）
- ・山口県宇部市（平成27年1月～）



（関市ホームページより引用）

2 期日前投票所等の大学等への設置

(1) 実施内容

大学等へ期日前投票所を設置し，投票率の向上や学生に対する啓発を図っている。また，本年4月に行われた公職選挙法の改正により，共通投票所（選挙の当日に既存の投票所とは別に，当該市区町村の有権者は誰でも投票できる投票所）を設置できることとなった。

(2) 実施都市

- ア 2015年統一地方選で大学に期日前投票所を設置した都市
函館市，弘前市，甲府市，豊中市，高知市，松山市，山口市，飯塚市，鹿児島市
- イ 参議院議員通常選挙で大学に期日前投票所を設置予定の都市
政令市では横浜市，名古屋市，千葉市，神戸市が設置予定。その他の都市も多数実施予定。
- ウ 共通投票所を大学に設置予定の都市
共通投票所を大学に設置予定の都市は見当たらない。
なお，商業施設等に設置予定の都市として青森県平川市及び長野県高森町がある。

3 啓発動画等

(1) 実施内容

芸能人を起用し18歳になったら選挙に行こう等を内容とする動画や，選挙制度の解説等を含んだ15分程度の比較的長編の動画が作成されている。作成した動画は，インターネット，テレビコマーシャル等を通じて放送されている。また，動画だけでなく，ポスター等による啓発は広く取り組まれている。

(2) 実施都市等

総務省，東京都，鳥取県，名古屋市，宝塚市 外



選挙について知ろう！

(総務省ホームページより引用)

4 高校生向け副教材

文部科学省は，選挙権年齢の引き下げに伴い，新たに有権者となる若い人たちの政治や選挙への関心を高め，政治的教養を育む教育の必要性が高まったことから，総務省と連携し，政治や選挙等に関する高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために」を作成し，高校生に配布している。

全国の高等学校において，社会科や特別活動等の時間を利用し，本副教材が活用されている。